

第10、11回詰四会臨時作品展

第10回課題・・・馬が頑張っている作品
第11回課題・・・大駒4枚使用

担当 たくぼん

第10、11回詰四会臨時作品展の解答発表

です。作品数は作者数4名で計11作。今回は中長編も数作あった為か、解答者数は前回より1名減って4名でしたが、すごいメンバーより解答頂きました。ありがとうございます。

作者の方もこのメンバーの感想が聞ける事に喜ばれることでしょう。

課題は、第10回が「馬が頑張っている作品」(2作)、第11回が大駒4枚使用(9作)でしたがが全体的に解答者には好評だったようです。

【全題正解者】

橋本孝治、隅の老人A、隅の老人B

【8題正解者】

冬眠蛙

第1番 酒井博久

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						料		王	一
						銀		糸	二
									三
						龍			四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角歩2

【詰手順】

- 2 一銀成 同 玉 2 二歩 同 玉
- 3 三角 3 二玉 5 一角成 2 二玉
- 2 二歩 同 玉 3 三馬 2 二玉
- 1 一馬 同 玉 3 一龍 2 一歩

2三桂迄 17手

【詰上り図】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						龍	糸	王	一
								糸	二
							桂		三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

作者

失礼ながら、デパート返送作です。

★ スタートは難解派酒井氏の軽趣向作。銀

を成捨て歩で玉を22に誘い問題の5手目。

ここで33馬と打てればいいのだがそうはい

かず角を打って32玉に開き王手で馬に

変えます。結果馬を打った事と同じになり

ました。22歩が2回出るだけで趣向っぽい

っていうのも強引ですが、全体の流れは軽

趣向ですよね。

橋本孝治

5手目で叶わなかった夢が13手目で実現。

なぜならその間に角が馬に出世していたか

ら。

隅の老人A

32銀は一見主要駒、良く見れば邪魔駒。初

手に作者らしさがチョイとだけ見える。馬

は潔く散るので表題は「桜（馬）散

る「評価B

隅の老人B

5 手目、つい44角打に誘われて苦戦。捨駒より33角打に惚れました。

★ 5 手目44角は良い感じに見えますが、13玉と逃げられて打歩詰にて不詰。角単打がいろいろな意味で好手です。

冬眠蛙

普通なら「平凡かなあ」と思える作品でも、課題を見た後だと、「おお、なかなか」と思ってしまう不思議（笑）。

★ よく見ると馬が頑張っていると言うより角が頑張って馬になつて…かな

第2番

尙と英

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				龍	駒			飛
		と		駒				
							歩	
金	銀			王				
					歩			駒
					馬			
				香	香			

持駒 なし

【詰手順】

- 1 五飛成
- 2 五歩
- 3 同馬
- 4 同馬
- 5 九馬
- 5 二馬
- 1 五馬
- 3 四馬
- 5 一馬
- 5 六歩
- 5 四玉
- 4 三銀
- 5 三玉
- 6 三香成
- 同玉
- 4 五馬
- 6 四玉

た。無理やり馬を周回させるより、自由に走らせた方が良いとの判断？

隅の老人 A

15馬大回転が見えるので大模様も気にならない。初手は開王手とみせて15飛成と軸駒をつくる、出足良し。収束もマズマズでした。表題「一輪車」とは如何に？評価 B

★ 私も初手が巧いなあと感じました。

隅の老人 B

ア、ア、アツの3連発。取られても、取られても、懲りない奴め。

冬眠蛙

収束で少し考えました。攻撃方より守備馬の動きが印象的なので、短く仕上げたかっ

た気も。

★ 短手数で収束がバチツと決まれば言うことなしたかったです。作者もそれは考えていたことでしょう。それにしても課題にピッタリでした。

第3番 山下繁実

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							駒		一
						雀	歩		二
					歩			王	三
						角	歩		四
						飛		歩	五
									六
									七
									八
									九

持駒 飛香

【詰手順】

1 二角成 同 玉 1 三香 同 玉
 3 三飛成 同 馬 1 四飛 迄 7手

【詰上り図】

									馬		一
									香		二
						香	馬		王		三
								歩	飛		四
									歩		五
											六
											七
											八
											九

持駒 なし

★ 24 に玉を出られると詰め難そうなので

邪魔そうな34角を消去する初手がポイント。2手目同銀は作意同様33飛成がある。13香で玉を呼び戻して見事34角消去完了。止めの33飛成で収束。気持ちよし。

橋本孝治

大駒4枚の課題ですが、「馬が（動くまいと）頑張っている作品」と解釈すれば、2つの課題のジョイント作品になります。

★ 馬が動くまいと頑張る・・・この発想は無かったなあ〜参りました。

隅の老人 A

34角が邪魔駒とは気がつきにくい。Aに近

第4番 山下繁実

いB評価、類型は有るけれど好作の部類。
表題 「誰かが足を引いている」 評価B
隅の老人B

2 手目、同銀は？これも33 飛成でOKでした。
7 手でピリリ、七味唐辛子かな。

★ この作品のスパイスはBさんには効いた
ようですね。

冬眠蛙

シンプルで好感。 43 歩は無いと余詰？

★ 43 歩が無いと、初手14 香（同馬、同歩、
同玉、23 角打、24 玉、25 飛以下）や23
飛（同歩、同角成、同馬、同歩成、同玉、
24 歩、同玉、13 角、23 玉、24 香以下）
で詰んでしまいます。

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										二
二										三
三										四
四										五
五										六
六										七
七										八
八								角		九
九	王									

持駒 飛金

【詰手順】

7 九飛 8 九飛 同 飛 同 玉
6 九飛 7 九飛 同 飛 同 玉
5 九飛 6 九飛 同 飛 同 玉
4 九飛 5 九飛 7 九金 同 玉

隅の老人A

珍形で「くる展」向き。易しき1番、

楽しき2番。表題「討ち死」。評価B

隅の老人B

金の切れ目が何とやら、あえない最後で大往生。

★ お金が無くなると人生も……いえいえそんなことは無いはず。詰将棋だけに欲しいものです。

冬眠蛙

詰む形を探してから解くのがポイントですね。

★ ばか詰でもいけそうな感じがします。(このままではダメですが)

第5番

坂東仁市

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							遊歩	王	一
					雀	飛	手		二
					桂				三
							銀		四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角桂2歩

【詰手順】

2四桂 2二玉 3二飛生 1三玉

1二桂成 同銀 2四角 同歩

1四歩 2三玉 3五桂 迄 11手

【詰上り図】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							飛		一
						飛		歩	二
					歩		王		三
					桂		歩	歩	四
						桂		銀	五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

【変化】

2 手目、同歩は、34角、同馬、13歩、22玉、

32桂成 まで

【紛れ】

7 手目46角は、35歩く24歩で不詰。

★ 最近では飛生と見せかけて実は飛成なん

て捻くれた？作品もありますが、打歩詰に不成は王道の回避法。本作はそれに収束の角短打を加えて1つの作品となっています。7手目角を離して打つと35に歩の中合いをされ最後の35桂が打てなくなります。詰パラ中学校で出題されれば手数を考えて無意識で24角と打っちゃいそうですが、ここでは少しは考えてくれた人もいるかも。

作者

飛生から24角の短打が狙い。11銀↓11香とすると、3手目32飛成（く43龍）で余詰みます。

橋本孝治

遠打と違って短打は気付かずに指してしま

第6番

越と英

います。本局もあとから考えて意味が分かる作でした。

隅の老人 A

24角の短打が光る、打歩打開の好作。表題

「無欲で行こう」評価 A

隅の老人 B

不成に短打、A翁さんの評価は A。ハイ、

納得です。

冬眠蛙

飛生十短打でニコリ。

★ 解答者全員好評でした。実は九州 G 課題

(最終手 桂) への投稿作でしたが、

担当者酒井さんよりこちらへ転送されてき

ました。

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					銀	科		飛	一
				季	飛			皇	二
			季			王		皇	三
								季	四
						角			五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀桂

【詰手順】

4五飛成 2三玉 2五龍 2四馬

同 龍 同 桂 4五角 3四桂

3二銀 1二玉 3四角 1二玉

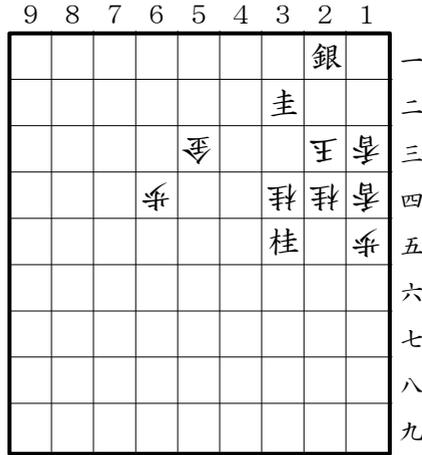
3三角 2二桂 2三桂 1二玉

- 3 一桂成 3 四桂 2 一銀生 2 三玉
- 2 二角成 同 玉 3 二成桂 2 三玉
- 3 五桂 迄 25 手

【変化】

- 4 手目、24 金合は、45 角、33 玉、13 飛成、
- 44 玉、36 桂、55 玉、53 龍、66 玉、67 銀、77 玉、76 金 以下
- 6 手目、同玉は、46 角、33 玉、45 桂、43 玉、
- 53 桂成、同玉、13 飛成、43 銀、63 金、42 玉、
- 64 角、51 玉、62 銀、以下
- 8 手目、34 歩合は、32 銀以下12 歩が打てるので早い。
- 10 手目、33 玉は、11 角、22 歩、同角成、42 玉、31 銀生、43 玉、55 桂、52 玉、33 馬以下。
- 14 手目、22 歩合は、23 桂、12 玉、31 桂成、
- 11 玉、21 成桂まで

【詰上り図】



持駒 なし

★

最初に投稿頂いた図は45 角、34 桂以下の19 手詰で盤面7 枚でした。作者がその図は不動駒が多すぎると改良を重ねられ出来上がったのが発表図です。どんな時でも最善を尽くす姿勢に頭が下がります。(一度

完成すると2度と顧みない誰かさんとは大違い」というわけで頭6手は後から逆算で入れられたもの。馬の移動合が入るなんて凄いとしか言いようがない。

橋本孝治

抵抗感のある序から、玉を陰に逃がしそうな32銀がヤマですね。それと、いつのまにか復活する34桂が印象的でした。

★ 32銀に対する33玉の変化がちょっと読み難いので難手となっているかも。

隅の老人A

絶えず不詰感が漂うが「悪力」で追う、難しかった。ハツとする妙手が1手でも入ればAに昇格、間違いなし。命名は角を突

き合う「鬪牛」度々お見受けいたしました。すが、本名は？作者が分かれば詰め易いのだが。評価B

★ 本名は、○内さん。読み方がちよっと難しい。愛媛出身の方です。分かったかな？

隅の老人B

金合と思ったら馬の移動合、歩合と思っただけ、桂合とこれまた裏目。大駒が消えての収束も気分良し、B爺さんはA点進上。

冬眠蛙

なぜか24馬の局面で45角の一手と思いつき、会合では解けません。手拍子つて怖い。それにしても綺麗な収束で感心。

★ 5手目24同龍が豪腕でした。

第7番

酒井博久

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一										
二										
三										
四										
五									龍	
六					金					
七										
八	角	飛								
九	王									

持駒 銀4

【詰手順】

2九龍 8八玉 8九龍 7七玉
 8七龍 6六玉 7六龍 5五玉
 4六銀 同馬 6五龍 4四玉
 3五銀 同馬 5四龍 3三玉

2四銀 同馬 4三龍 2二玉
 1三銀 同馬 3二龍 1一玉
 2一龍 迄 25手

【変化】

2手目、79金合は、89飛（同龍）89金以下でも可）、98玉、87銀、89玉、78銀打以下。

6手目、68玉は、59銀、69玉（同玉は57龍以下）、78銀、59玉、57龍以下。

18手目、42玉は、43銀 33銀打、32銀成もある）、31玉、51龍（32銀成も詰む）、22玉、32銀成、12玉、21龍 迄 25手駒余らず（変同）

【紛れ】

初手、89飛は、98玉、87銀（96龍は89玉以下逃れ）、89玉、78銀打、79玉、29龍、

39 角合以下逃れ。

★ 今回の作品展に6作登場の酒井氏ですが、その中でも一押しなのが本作なのです。データバースでの調査では同一作はないとの事。

【詰上り図】

									龍	王
									銀	
角										

持駒 なし

作者

銀捨て+龍絞りの趣向手順はありふれていますが、飛角図式で表現した点にわずかながら新味があるでしょうか。持駒趣向+玉の斜め大移動（99↘11）の付加価値もあります。

飛角図式とはいえ、88飛の働きがイマイチなのが弱点。当初は、26龍↓39龍、88飛↓99龍、99玉↓77玉で、88龍捨てから始めることを考えていたのだが、初手86銀や79龍左の余詰があつて断念。

57馬は角でも成立しているが、46銀を同角生と取っても余詰がないので、ここの飛限定を避けた。24銀に作意は同馬ですが、42玉と逃げられると（複数の詰手順はある

ものの、早い順がありません（つまり変同）。反復の慣性で見落としてしまいました。痛いですが、致命的なものではないと思うので、そのまま投稿しておきます。

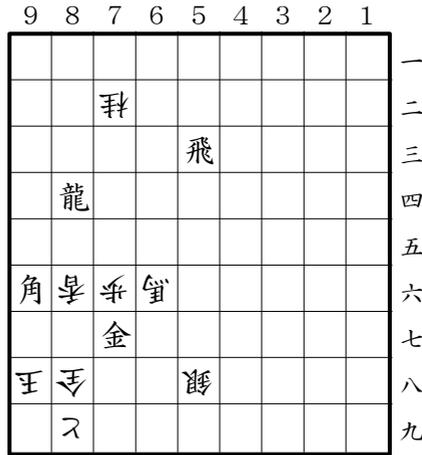
★ 作者のコメントで言い尽くされていますが、何ととっても飛角図式で表現できたというのに付きます。

橋本孝治

図巧63番のアレンジですね。知っていれば（変化飛ばしの術で）一瞬ですが、知らずに解くと苦勞するかも。

★ 序にちょっと変化が多くあります。筋が見えれば読み飛ばしの術が使えますが…

【参考図】図巧63番



持駒 金2銀2

- | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| 33 | 同馬 | 78 | と | 97 | 金 |
| 銀 | 74 | 龍 | 87 | 同玉 | 同玉 |
| 同馬 | 龍 | 86 | 金打 | 86 | 龍 |
| 52 | 53 | 87 | 98 | 86 | 龍 |
| 龍 | 玉 | 龍 | 玉 | 98 | 玉 |
| 31 | 44 | 75 | 88 | 98 | 玉 |
| 玉 | 銀 | 玉 | 金 | 97 | 龍 |
| 22 | 同馬 | 85 | 同玉 | 97 | 龍 |
| 銀 | 同馬 | 龍 | 同玉 | 同玉 | 同玉 |
| 同馬 | 63 | 64 | 58 | 99 | 香 |
| 同馬 | 龍 | 玉 | 龍 | 同 | 同 |
| 41 | 龍 | 55 | 77 | | |
| 龍 | 玉 | 銀 | 玉 | | |
| 迄 | | | | | |

35手

★ さすがに看寿。趣向部分も素晴らしいですが、それ以外の手順も半端ないです。

隅の老人A

トリプル趣向を楽しみました。易しさと更に盛り上がる。命名 「4段ロケット」

評価 A

隅の老人B

解けて思わず、「上手い！」飛角図式で持駒趣向、加えて手順も趣向入り。こんな別嬪見たことない。同県人の江口さんも裸足で逃げる？

★ 江口さんも熊本ですね。会合参加はないのかな？

冬眠蛙

89 飛から詰まなくて苦悶。あれ、初手29龍なら？ヤラレタ！

★ 47 馬配置で29龍はやりにくさ満点でした。

第8番 酒井博久

9	8	7	6	5	4	3	2	1
				龍				
						飛		
			馬		駒	桂	と	
						王		
			龍	金			飛	

持駒 角銀

【詰手順】

4 四金 同 銀 4 三銀 同 玉
6 三龍 3 四玉 4 三龍 2 三玉
2 一龍 2 二桂 同 龍 同 玉
2 一桂成 同 玉 1 二角 1 一玉
2 二角 同 玉 2 三角成 1 一玉
1 二馬 同 玉 2 四桂 2 二玉
3 二桂成 1 二玉 1 三歩 1 一玉
4 一龍 迄 29 手

【変化】

2 手目、23 玉は、25 龍以下
8 手目、35 玉は、44 龍、同玉、62 角、45 玉
（53 歩には同龍）、63 角以下、29 手駒余り以内。

※無駄合とかもあって煩わしいのですが、割

り切れているはずですよ。

8 手目、同玉は、61 角、52 歩、同龍、34 玉、55 龍、23 玉、25 龍以下。
10 手目、22 香は、同龍、同玉、21 桂成、同玉、24 香以下。

【紛れ】

3 手目、35 銀は、同銀、54 龍上、同角、同龍、23 玉以下逃れ。
7 手目、43 角は、35 玉以下逃れ。
11 手目、32 龍引は、14 玉以下逃れ。
11 手目、34 角は、14 玉、12 龍、13 桂（または金）以下逃れ。
13 手目、31 角は、23 玉以下逃れ。

★ 短大返送作だそうです。

【詰上り図】

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					龍			王	一
						圭			二
								歩	三
					馬				四
							歩		五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

作者

8手目35玉の変化は嫌味ですが、63龍は、不利感のある着手だと思います。

★ 初手はまあやってみる手。同銀と取られ

て43銀、同玉。ここで目に付くのは63龍ですが、34玉と逃げられて詰むの？と不安になります。担当は、これを読むのがいやで初形に戻りました。しかし目ぼしい手もなく、またこの局面に。そうなる

と43龍は取れば61角が見えるのでやってみる手です。しかし現実には35玉と逃げられて大海をさ迷う玉を詰めなければいけない現実には直面します。プロ棋士とか指将棋派の方は全てを読まない気がすまない人が多いでしょうがベテラン詰キストは違います。飛ばします（笑）

作者を信用します（笑）冗談はさておき43龍に対して23玉となればあとはすらすら詰め上がりです。前半と後半のギャップが凄いい作品でした。

橋本孝治

9手目からは流れるような手順ですが、それまでの変化と紛れは大変。3手目35銀の紛れはかなり深いですし、8手目の変化が同手数駒余り以内に収まるのにも驚きました。逆算が強引にも思えますが、協力しないルールならではの攻防が楽しめました。

隅の老人 A

酒井さんには何時もイジメられますが、好きですよ。63角が質駒で取るのが野暮ったいけれど、収束での角の捌きは前半のイラつきを解消させてくれました。命名「角兵衛獅子」評価 A

隅の老人 B

大海もの、43竜が見えず大苦戦、続く23王も意外な一手。熊本なら東シナ海の波高し、

かな。

冬眠蛙

変化飛ばしまくりでしたが、大丈夫かな？
63龍く43龍が力技ですね。

第9番

酒井博久

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
	歩		歩						六
王		銀		銀					七
		馬			金				八
			桂	王	角	角	龍		九

持駒 なし

【詰手順】

- 6 八銀左 同 金 5 八金 同 金
- 4 八角 同 金 同 銀 6 八玉
- 5 七銀 7 九玉 6 八銀 同 玉
- 3 八龍 7 九玉 7 八金 8 九玉
- 8 八金 9 九玉 9 八金 8 九玉
- 8 八龍 同飛成 同 金 7 九玉
- 7 三飛 6 九玉 7 八飛成 5 九玉
- 5 八龍 迄 29 手

【変化】

- 4 手目、69 玉、68 金、79 玉、78 金、89 玉、
- 79 金、同玉、68 銀、同玉、38 龍以下。

※作意と似ているが、39 角が残っているので早い。

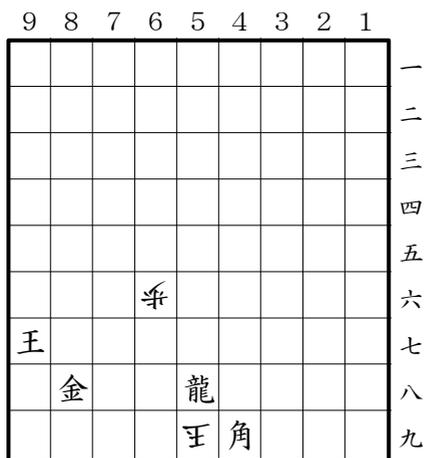
12 手目 89 玉、67 角、同歩成、77 (57) 桂以下。

26 手目は 68 玉も可。

【紛れ】

初手 58 金、69 玉、68 金、同金、58 角、同金以下逃れ。

【詰上り図】



持駒 なし

作者

玉が往復して還元するなど、一定の見所はあるが、内容が薄い。半分以上が収束という感じで物足りない。でも、まとまりのよさは評価できるか？77銀は持駒でも成立するが、置くほうがベターだろう。

前回（持駒なし）の課題作と同時（正確には少し前）に作ったもの。実を言うと、66歩・86飛・97王の三枚を除き一路左に寄せても、詰むことは詰む（11手目78銀に98玉なら89金、97玉、37龍以下）。しかし、収束で色々な詰め方が生じ、うまくまとまらない。キズとして処理するには、ちよつと大きすぎるように思うし。

結局、ダラダラとした収束にせざるを得なかった。まあ、そのおかげ（？）で

還元玉になったとも言えるのだが。

★ 序で3連続金の横移動。続いてその金を取った48銀を消去。龍を8段目に据えて金の横滑り。飛を取ってラストは還元玉とやってることはやっています。趣向もやや薄めということとで解答者にはやや不満が残った感じでした。

橋本孝治

一応これで合っていると思いますが、よく分かりません。紛れに入らないと狙いが分からないタイプの作品でしょうか？

隅の老人A

気持ち良く駒を捌いていたら危ない危ない、短手数で詰めるところだった。命名「もぐら叩き」評価B

隅の老人B

持駒はなし、29竜の出番は何時？まさか73
 飛打が出るとはね、でした。難解派の酒井
 さんは何処に在りや？

第10番 酒井博久

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				入		皇	歩		一
		歩	銀	歩			歩		二
						と	皇	皇	三
				王	角				四
							皇		五
				銀		金			六
						金			七
				桂					八
						飛		飛	九

持駒 角銀2

【詰手順】

- 4三角 4四玉 5六桂 3三玉
- 3四角成 同玉 3五金 同玉
- 3六金 2四玉 2五金 同玉
- 2六銀 同玉 2七銀 同玉
- 2九香 2八角 同香 同玉
- 1七角 2七玉 2八銀 1六玉
- 6二角成 2五玉 2六銀 2四玉
- 5一馬 3三步 3五銀 2五玉
- 5二馬 3四角 2六銀 2四玉
- 3四飛 同歩 4二馬 3三飛
- 同馬 同玉 4四角 3二玉
- 3三飛 2二玉 5三飛成 1二玉
- 1三飛成 同玉 1四歩 同玉
- 1五香 2四玉 3五角 同歩
- 2五歩 3四玉 4四龍 迄 59手

【変化】

2 手目、63 玉、64 銀、同玉（74 玉は75 銀、同玉、79 飛以下）、56 桂、73 玉、74 銀、同玉、79 飛以下。

4 手目、55 玉、64 銀、66 玉、69 飛、68 歩、67 銀、同玉、78 銀、同玉、79 飛以下。

8 手目33 玉、34 銀、32 玉、23 銀成、41 玉、32 銀、同香、同成銀、同玉、33 香、同玉、13 飛成以下。

10 手目34 玉、35 金、33 玉、34 金、22 玉、33 銀、同香、同金以下。

18 手目28 銀合、同香、同玉、17 銀、同香成、29 飛右、18 玉、19 銀まで。

26 手目18 歩、17 銀（同飛でも歩が1枚増えるので詰むが）、15 玉、51 馬、33 歩、16 銀打、24 玉、29 飛右以下。※34 飛捨てあり。

34 手目34 桂合、26 銀、24 玉、34 飛、同歩、42 馬以下。

40 手目33 他合、13 飛成、同玉、14 歩、22 玉、13 歩成、同玉、31 馬以下。※銀合だところここで22 銀引とできるが、大差なし。

44 手目42 玉、43 歩、同玉（51 玉は61 飛、同玉、69 飛以下）、63 飛、54 玉、53 角成、55 玉、44 馬、46 玉 56 玉は59 飛、57 歩、66 飛成以下、同手数駒余り。57 歩の所58 歩は無駄合と判断）、49 飛、47 合、37 銀上、57 玉、66 馬、58 玉、67 馬まで同手数駒余り。※43 歩、51 玉、52 歩以下など、変別もあるので要注意。

【紛れ】

初手55 銀、63 玉、64 銀、同玉、56 桂、73 玉以下逃れ。

3 手目 34 角成、53 玉以下逃れ。

37 手目、34 馬、同歩、42 角、33 合以下逃れ。

47 手目 43 飛生も可。※厳密には余詰だが、やむを得ない。

53 手目 16 ～ 19 に打つのも可。

【詰上り図】

								皇	歩	
		歩								
								皇		
					龍	王				
						歩	歩	香		
				桂			銀			
							銀			

持駒 なし

作者

打歩打開が中心的狙い。33 飛合を発見し収束を引き延ばすことにしたが（当初は攻

11 と配置でもっとあつさりしていた）、

35 角捨てで何とかまとまった。

★ 2 手目 63 玉の変化を考えるだけで熱が出そうですし、4 手目 55 玉も同じ。だがこ

こで 33 玉となった場面で俄然元気が出て

きます。金を捌き 2 筋の玉を銀連打で 27 へ。

29 香に歩と桂の合駒は出来ないので角と

決まれば作意と確信できます。質駒の 62 銀

を開き王手で奪い 51 馬、33 歩からの合駒の

やり取りは面白いの一言。34 飛と角を奪い

42 馬に対する 33 飛合が変化の 31 馬を消す

眼目の一手。この飛をあつさり取って収束

となりますが作意は角捨ても入ってきれい

に詰み上がります。唯一気になるのが収束前の47手目作意53飛成が43飛生一成だとダメ)でも良いという点。作者も言うてますが厳密に言えば余詰というのはその通りだと思いますが、34に利かさず42に利かすという手の意味を考えれば非限定でもいいのかなという気がします。

橋本孝治

「詰将棋は根性だ！」という言葉が似合いそうな作。特に47手目13飛成の紛れは、なかなか諦めきれませんでした。創作の出発点は18手目の角合あたりでしょうか？本当なら見所満載の力作と言いたいのですが、47手目の非限定(53飛成でも43飛生でも良い)のせいで、締まらない印象が残ってしまいました。

隅の老人 A

趣向を思わせる配置だが、いきなり厄介な変化が待っている。命題「5里霧中」と付けたくなった。ようやく2筋に誘い込みヤレヤレ、第1幕終了。62角成と質駒を取るが、2幕目はこれまた厄介な合駒合戦。息が上がったが44角と打ち込み終焉が見えてきた。35角と大見得を切り、拍手喝采。めでたし目出度し。評価 A

隅の老人 B

第9番で「難解派の酒井さんはどうしたの」と言ったら、そのお返しがありました。初手がなかなか決まらない。また誤植かな？王方51と金が気にかかる。43角打、2手目の変化読みで日が暮れた。前半は変化読み、後半は合駒調べで難しい。やっぱ

り酒井さんは難解派。

★ 変化すべて読よまれるとは流石！

第11番 酒井博久

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		皇								一
				歩						二
										三
										四
										五
										六
										七
										八
										九

持駒 角金2

【詰手順】
 3八角 同玉 3七金 2八玉

9 二成銀	9 四銀	8 四飛	1 四飛	1 六飛	1 四飛	1 六飛	8 一香成	7 八飛	5 八飛	3 八飛	2 七飛	同 金	1 七飛	1 七馬	3 八金
迄	8 二玉	8 三銀	8 三玉	8 五玉	8 五玉	9 五玉	9 七玉	8 九玉	6 九玉	4 九玉	2 八歩	同 玉	2 九玉	同 玉	1 九玉
65手	9 三銀成	同飛成	8 二成香	8 六歩	1 五飛	9 七香	8 八金	7 九金	6 八飛	4 八飛	同飛引	1 八飛打	2 八金打	5 七飛	1 八金
	8 一玉	同 玉	同 玉	8 四玉	8 六玉	8 四玉	9 六玉	9 八玉	7 九玉	5 九玉	3 九玉	2 九玉	同飛成	1 八玉	同 玉

【変化】

2 手目、39 玉、29 金、48 玉、26 馬以下。
4 手目、48 玉、38 馬、59 玉、69 金、同玉、
79 金以下。
12 手目、16 玉、17 金、25 玉、26 金以下。
14 手目、同玉、27 金打以下。
20 手目、39 玉は37 飛以下早い。受方は38 〳
78 のどこかに捨合しなければならぬが、①
38 〳58、78 歩だと同飛寄から飛引（78 歩
の場合は79 金）で簡単。②68 歩は二歩だか
ら68 香となるため早詰。
22 手目、39 玉は20 手目変化と同じ。
38 手目、87 玉も可。※攻97 桂を置けば限定
できるが、そこまでする必要なしと判断。
42 手目、86 歩、同飛、95 玉、96 歩、86 玉、
87 香、96 玉、76 飛以下。

46 手目、83 玉、93 香成、同玉、73 飛成、83
金、94 歩、92 玉、91 成香、同玉、11 飛成以
下63 手駒余り。

48 手目、84 玉、85 歩、83 玉、13 飛成、63 桂、
84 歩、同玉、24 龍以下。

58 手目、①歩香桂合は92 香成、同玉、72 飛
成以下、同手数駒余り。②金角合は同飛成以
下2 手短い。

【紛れ】

3 手目、26 金、29 玉以下逃れ。

5 手目、27 金、29 玉（または39 玉）

以下逃れ・27 馬、同飛成、同金、39 玉以下逃
れ。38 馬、19 玉、29 金、同飛成、同馬、同
玉以下逃れ。

13 手目、28 金打、同飛成、同金、同玉以下逃
れ。

れが強力で、かなり悩みました。17 へ馬と飛を送り込む序や、切れそうで切れない収束手順など、なかなか充実した手順で、読み応えがありました。

隅の老人 A

作意と掛けて、初心者のスケートと解く。

その心は「手摺り磨き」に似たり。9筋に辿り着いてから、ヨタヨタと転びそうで手摺りにひがみつく。やっとコーナーのポケットに座り込み、ホッと一息。評価 B

隅の老人 B

2 段構えの飛の趣向に酒井さんの遊び心を、そして序の巧みに酒井さんの技量を感じます。ただ、全体としては何かちぐはぐで纏まりのない作品のような気がする。

【総評】

それでは総評です。

橋本孝治

そろそろ年賀詰作成の季節なので、普通詰将棋の感覚を取り戻そうと解図しました。

今回は酒井氏の大活躍が印象的だったので、私はひそかに「詰九会作品展」と呼んでいます。

★ 確かに四国の人には居ませんね（泣）

いやいや四国の人にはパラに出ていますので・

隅の老人 B

A 爺さんと B 爺はメール友達。メールの話

題は天下の形勢から日常茶飯事までの、何でもあります。それでも時には話題が尽きて、メールが絶える。「寂しいなあ」。

そこでB爺、A爺さんへHPのたくぼんさんの処で「詰四会の臨時作品展」がある。解答の締め切りは11月30日。B爺が思うのに、たぶん解答者は少ない、それでは、たくぼんさんはガッカリだろう。で、「暇つぶしに、A爺さん、B爺さんの掛け合い漫画で解答しませんか。」と提案のメールしたのが11月の12日。翌13日、A爺さんより返メールあり。「馬が頑張っている、飛角4枚使用の作品展ですね。酒井さんは苦手な作家ですが、他にやる事も無いので考えてみます。感想はやや長めに書いてみます。A、B爺の感想なら大体予想が付き

ます。」同日の午後にまたメールあります。「詰四会⑤番まで解いてみた。感想はこんなモノで如何でしょう。」各問題の初手と最終手、詰手数と、その作品への感想、加えてオマケの評価点まで書いてある。これをヒントに未だ手を付けていなかったB爺も考えた。14日のメール、⑥⑦⑧。15日は詰四会の解答に取り組んでいるけれど、10番で立ち止まる。酒井さんは矢張り苦手だわい。大学院並みのややこしさ。暫く休憩。」とあって、⑨の感想と評価。同15日の午後4時前、まさか今日は来ないだろうと思っていたメール来る。「詰四会、⑩⑪、鉄は熱い内に打て。気のあるうちに詰将棋。」とあって、最後に「これでノルマ終了す。」でした。さすがにA爺さん

は早い早い。B爺は未だ⑧でよたよたしている、全題解けるのは何時の日か。11月18日、B爺さんも全題完了、長編が多くて解答書きでまた苦勞。いろいろあって、暇が潰れたのは良いけれど、酒井さん主催の「Fairy of the Forest #29」の解答を忘却。こちらで頑張ったのだから、「酒井さん、ごめんね」、です。

★ えーっとちよっと気になる箇所はありますが（笑）感謝感謝です。でもFOFも忘れちゃ困りますよ。

冬眠蛙

途中までなんですが、これから解ける見込みがほぼ皆無なので（笑）、送信してお

きます。

★ いつも詰とうほくで解図頂いているようで感謝感謝です。詰とうほく作品展開催の際にはお力になりたいと思ってます。（本当か？）

【次回第12回詰四会】

次回の詰四会は平成24年1月29日に松山市の松山市民会館で開催致します。課題は「斎藤さんの結婚祝賀詰」です。詰備会と合同で予定しています。果たして作品が集まるかが心配ですが、会員諸氏の頑張りに期待したいところです。たくさんの御参加お待ちしております。

たくぼん